

令和元年度大岡小学校 5年2組 クラスの学びを発信します！

作ってあわあわ！5-2石鹼工場！

「まちの人の役に立って、笑顔にしたい。」これまでの学びをもとに、子ども達はこのような願いをもちました。材をどうするか考えたときに、教師が持っていた固形石鹼に興味をもった子どもがいました。「石鹼をみんなで作れないかな。」という話題が広がり、作り方や成分などを調べてくることになりました。調べてみると、危ない薬品を使うことにはなるけれど、主な原料の油を用意できればできそうだという話になり、5の2オリジナル石鹼を作ることになりました。石鹼に決まると、次々と自分の家にある固形石鹼を持って来る子ども達。教室の後ろには様々な種類の固形石鹼が並び、それを興味津々に見ている様子が見られます。



1回目の石鹼づくりでは、自分の家にある油を持ち寄って行いました。油を温め、苛性ソーダと混ぜて、ペットボトルでひたすら振りまわりました。子どもたちは、これがとても疲れたようです。1か月間熟成が必要のため、その間に、自分たちの目指す石鹼がどのようなものになるのかを明確にするために、市販の石鹼を試しました。市販の石鹼の泡立ちや香りなどを分析しました。1回目の石鹼ができ、さっそく触ったり、匂いを嗅いだり、使ったりしました。なかなか納得いくような結果ではありませんでした。振り返りを基に、2回目の石鹼づくりでは油の種類や、香りを変えて取り組みました。

夏休みが明けると、ちょうど2回目の石鹼が熟成され、出来上がります。これから、5の2石鹼がどのような変身をするのか楽しみです。